

electro-harmonix

Ripped Fuzz Fuzz

ギター黎明期の歪みを完全なアナログ回路でエミュレートしたelectro-harmonix Ripped Speaker Fuzzをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。FUZZノブを低い設定にした場合は、1950年代のブルースクラブにおいて使用された低出力アンプを最大にしたときのような、ピュアで微かに割れたトーンを再現することが可能です。Fuzzノブの設定を上げると、空間を引き裂くような完全にサチュレートしたファズトーンへ変化します。さらにRIPノブを調整することで、ハーモニクス豊かなサウンドから圧縮されてプチプチと音を立てるような、よりモダンなキャラクターのゲートサウンドに変化します。Ripped Speakerはトゥルーバイパス方式を採用しています。

トリビア：望んでいた新たなトーンを手に入れるために意図的にアンプに損傷を与えるという話は、1950年代初期のギタリスト/シンガー Ike Turnerの身に起きたアクシデントに端を発します。ショーの前に機材を降ろしている時、Turnerのバンドメンバーは1台のアンプをツアーバンから歩道に落としてしまい、スピーカーに穴を開けてしまいました。演奏するまでは気が付きませんでした。彼はそのサウンドを気に入り、そのアンプはその後のレコーディングセッションでも使用されました。

コントロール

FUZZノブ - ファズ回路へ送り出す入力ゲインの量をコントロールします。FUZZノブを時計回りに回すほど、ヘビーなファズサウンドになります。

RIPノブ - RIPノブは信号波形のトップ、もしくはボトムのどちらか一方のクリッピングの量を変化させるバイアスコントロールです。ノブが12時の方向で最も圧縮されていないオープンなサウンドを得られます。12時方向から左右どちらかにRIPノブを回すと押しつぶされてゲートがかかったようなサウンドや一風変わったスバツタリング・エフェクトなど、ファズのキャラクターが変化します。

TONEノブ - ファズトーンのシェイプを変化させるアクティブのティルト・シフトタイプのEQです。TONEを12時に設定した場合、EQはフラットになります。TONEを反時計回りに回すと高域が減少し、低域が強調されよりダークなフリークエンシーレスポンスを得られます。時計回りに回すと高域が増加し、低域が減少することでよりブライتناトーンになります。

VOLノブ - Ripped Speakerのボリュームをコントロールします。

フットスイッチとLED - エフェクトのON/OFFを切り替えます。エフェクトがONの時、LEDが点灯します。

接続端子と電源

INPUTジャック - 1/4" モノフォーンタイプのINPUTジャックです。インプット・インピーダンスは1MΩです。

OUTPUTジャック - 1/4" モノフォーンタイプのOUTPUTジャックです。後続のエフェクターやアンプのINPUTジャックと接続します。アウトプット・インピーダンスは100Ωです。

POWER - Ripped Speakerは9VバッテリーもしくはオプションのJP9.6DC-200、センターマイナス極性のパワーサプライをこのジャックに接続し、動作させることができます。消費電流値 10mAを必要とします。ACアダプターを使用した場合、バッテリーからの供給は停止します。

9Vバッテリー(006P)を使用する場合、ケーブルをINPUTジャックに接続すると電源が入ります。バッテリーの消耗を防ぐため、使用しない場合はINPUTジャックからケーブルを抜いてください。

※異なるアダプターや間違った極性のアダプターの使用による破損は保証適用外となりますのでご注意ください。

— 電池交換について —

9Vバッテリーを交換する場合はRipped Speakerの底面パネルを固定している4本のビスを取り外して下さい。ビスを外したら底面パネルを外しバッテリーの交換が可能です。底面パネルを取り外した際は、内部基板に触れて損傷を招く恐れがあるため、充分にご注意ください。

SPECIFICATIONS

- ・ インプットインピーダンス: 1MΩ
- ・ アウトプットインピーダンス: 100Ω
- ・ 消費電流値: 10mA
- ・ バイパス方式: ツールバイパス